

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス にじいろ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日	~	令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	18	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日	~	令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムの充実	・イベント等を活動プログラムに取り入れながら、利用者が楽しんで取り組めるように努めている。また活動プログラムが固定化しないように活動前にチームで意見を出しあっている。	・色々なプログラムの立案、実施をしていく、チームで改善点などを出し合いながらより充実したプログラムに取り組み、利用者が楽しみに通所できるような環境設定も行っていく。
2	・保護者等への発達状況の共通理解	・保護者との面談だけでなく、送迎時などで日々の様子等をお伝えしており、日頃から職員間でもチームとして利用者一人ひとりの共通理解を図れるように努めている。	・発達状況の共通理解をより図れるように、画像や動画で日々の様子を職員間で確認しながら、職員全員が対応できるような支援体制を構築していく。
3	・季節ごとのイベントを計画・実施	・保護者や利用者の声を聞き、季節ごとにイベントを計画、実施しており季節感を感じられるように努めている。また日頃から職員間で情報共有を行いながら振り返りを行い、次に繋げている。	・利用者全員がイベントに参加できるようなプログラムの計画や環境設定の構築を行い、また保護者も一緒に参加出来るようなイベントを計画していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職（PT・OT・ST等）の不在	・言語訓練等専門職の実施する支援のニーズが高く保護者等から問い合わせもあるが不在のため新規の利用者に実施することが出来ていない。	・既存の利用者に対しては前任が組んだプログラムを継続して行っているが（評価は出来ない状況）新規利用者に支援を提供するため、募集をかけている状況。
2	・外部研修等への受講	・最低限の研修は受講出来ているのだが、シフトの関係上、人員確保が難しい状況が見られる日もあるため受講が難しい状況である。	・人員の確保及び研修時の職員体制の充実を図る。
3	・ペアレントトレーニング等や父母の会等の交流会	・保護者に対して情報提供など行う機会を設けているが保護者同士の交流等は無くても良いという意見もあり、検討中である。	・保護者同士の交流出来るような機会が設けられるように、日頃から事業所を開放し、気軽に来所する事が出来、子どもたちの様子を見学出来るような環境設定を行っていく。